

## 小学校中学年向き

★:シリーズあり    ☀:大型絵本あり

### 『あさの絵本』

請求記号：アカ

文/谷川俊太郎  
写真/吉村和敏  
アリス館 2006年

あさの絵本



プリンス・エドワード島等で撮影された朝の風景写真と、幻想的な詩がコラボレーションした美しい写真詩集。

生まれてくる朝。静けさや力強さに出会いたくなった時に読みたくなる。不思議と季節を選ばない本。

### 『あしなが』

請求記号：アカ

作・絵/あきやまただし  
講談社 1999年

すらりとした美しい犬・あしながは、かっこいいけど最低のやつと、のら犬たちから嫌われていました。みんなのうわさ話を信じていたのら犬のケンは、ある日あしながの本当の姿を知ります。

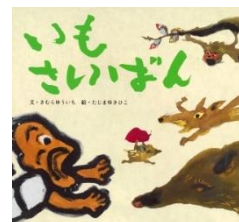


友だちって、なんだろう。うわさにまどわされな  
いで、本当の姿を知ってほしい。

### 『いもさいばん』

請求記号：アカ

文/きむらゆういち  
絵/たじまゆきひこ  
講談社 2016年



畑に育ったりっぱなおいもがある日とつぜん盗まれた。おじいさんは、いもどろぼうを捕まえようとする。同じ自然の中で生きる人間と動物たち。はたしてさいばんの結果は。

それぞれの言い分はあるだろうけれど…。共生を考えさせられる本。

### 『うそ』

請求記号：アカ

作/中川ひろたか  
絵/ミロコマチコ  
金の星社 2014年

うそをつくのはよくないことだが、人を喜ばすうそもある。うそを見つめ、人が生きることを深く考える絵本。



ほくがいままで経験したうそをあげて、ほくに人生を考えてみる。ちょっとした大人への入り口。

### 『ウラパン・オコサ』

請求記号：アカ

作/谷川晃一  
童心社 1999年

1はウラパン、2はオコサ、3がウラパン・オコサと数える、呪文のような数のおはなし。1と2を言葉で表すと……。皆で言ってみよう。



参加型絵本。最初は「何を言っているのかな？」と戸惑う子が多いですが、くり返すうちに数と言葉の関係に気づき、一緒に声に出して読んでくれます。

## 「けんかのきもち」

請求記号：アカ

文／柴田愛子  
絵／伊藤秀男  
ポプラ社 2001年

こうたとけんかしたたい。  
こうたがあやまってくれた  
けれど、けんかの気持ちは  
終わらない。けんかを通じて  
深まっていく子ども同士の関係。



けんかは、素手で。けんかは1対1で。けんか  
をした時のくやしい気持ちが迫力ある絵で伝わ  
ってくる。でもけんかの後はきっともっと仲良くなれ  
る。

## 「すみっこのおばけ」



請求記号：アカ

作・絵／武田美穂  
ポプラ社 2000年

ぼくの部屋のつくえの下に、  
ちいさなおばけが住んでるの。  
ふわふわした、わたがしみた  
いなやつなんだ。



ぼくとちいさなおばけのお話。

なんでも話せるこんな友だちがいたら、強くな  
れるかも。武田美穂のほんわかしたお話。

## 「タケノコごはん」

請求記号：アカ

文／大島渚  
絵／伊藤秀男  
ポプラ社 2015年

パパが小学校にいった  
ころ、日本は中国と戦争をし  
ていた……。映画監督と絵本作家のコラボレ  
ーションでつづる「戦争」と「平和」のメッセ  
ージ。



故・大島渚監督の子どもの頃の体験談。人々の  
奥深くにあるいろいろな気持ちが、力強い絵で描  
かれている。

## 「とべバッタ」



請求記号：アカ

作／田島征三  
偕成社 1988年

敵におびえながら  
生きていくのが、つく  
づくいやになったバッ  
タが、自分の力で世界を切り開いてゆく。



躍動感ある絵と、バッタの気持ちが、すがすが  
しい。夏になると読みたくなる本。横長で大きめ  
の本なので、最後まで安定して本を持つように注  
意を。

## 「わたし」

請求記号：アカ・361

ぶん／谷川俊太郎  
え／長新太  
福音館書店 1981年

「わたし」とひとことに  
言ってみても、見る人によって  
いろいろな「わたし」がいる。  
「わたし」は一人なのに、  
呼び名はいっぱい。

わたし



「わたし」について、人との関係性について、分  
かりやすく、楽しく描かれています。

## 「いつもちこくのおとこのこ

ージョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシー」

請求記号：ミドリ

さく／ジョン・バーニンガム  
やく／たにかわしゅんたろう  
あかね書房 1988年

どうしても遅刻してしまう  
少年ジョン・パトリック・  
ノーマン・マクヘネシーと、  
そんな彼を厳しく罰する先生のお話。

いつもちこくのおとこのこ  
ージョン・パトリック・  
ノーマン・マクヘネシー



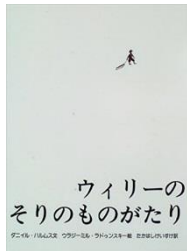
ジョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシー。長い  
名前だが、テンポがとりやすい。内容はユニーク。  
学校が始まるころに読むのがおすすめ。

### 「ウィリーのそりのものがたり」

請求記号：ミドリ

季節：冬

文／ダニール・ハルムス  
絵／ウラジーミル・ラドゥンスキー  
訳／たかはしけいすけ  
セーラー出版 1996年



ウィリーはそりがお気に入り。丘にどっさり雪が降り、そりは、次々に人や動物にぶつかって行く。

遠目もきいて、スピード感を楽しめる。また、リズムもいい絵本。登場人物の目にも注目。

### 「うごいちゃだめ!」

請求記号：ミドリ

ぶん／エリカ・シルヴァマン  
え／S.D.シンドラー  
やく／せなあいこ  
アスラン書房 1996年



あひるとがちょうは、「どっちがいちばん」のくらべっこをしていて、「うごいちゃだめ」の競争をはじめた。そんなとき、キツネが現われて…。

本当のライバルとは…。とってもドキドキするけれど、いざというときには、こんな関係であってほしいと思える本。

### 「王さまライオンのケーキ」

請求記号：ミドリ

作・絵／マシュー・マケルゴット  
訳／野口絵美  
徳間書店 2010年



王さまライオンの食事会に出てきたおいしそうなケーキ。9匹の動物たちは、どのように食べたかな。

ケーキをどうやって分けるか、算数の絵本として楽しめるだけでなく、マナーや優しさについても考えさせられる本。

### 「ベッドのしたにはなにがある?」

請求記号：ミドリ

さく／マイク・マニング  
さく／フライタ・グラン  
ストローム  
やく／せなあいこ  
評論社 1999年



ベッドの下にあるのは床板。その下には、何がある? ユーモラスな科学絵本。

科学の入り口は、ちょっとした疑問から。子どもの疑問に答える本。解説のような小さな文字は読み聞かせしなくてよいが、「もっと詳しく知りたい人は、本を読んでみてね」と締めくくるとよい。

### 「みどりの船」

請求記号：ミドリ

季節：夏

作／クエンティン・フレイク  
訳／千葉茂樹  
あかね書房 1998年



もぐりこんだお屋敷の庭で、ぼくたちはみどり色の船を発見した。船にはちゃんと舵もついていて、船長の写真も飾ってあった…。すばらしい夏の航海の思い出。

子ども時代のわくわくした夏の経験は、時が経っても色あせないすてきな思い出。

### 「ロバのシルベスターとまほうの小石」

請求記号：ミドリ

作／ウィリアム・スタイク  
やく／せたていじ  
評論社 1975年



ある雨の日、ロバのシルベスターは望みが叶う魔法の小石を見つけ大喜び。ところが、ライオンに出会ってしまい…。

スタイクの世界らしいちょっとまめけで、心温まる本。親子の愛情をたっぷり感じられます。



## 「おなかのかわ」

請求記号：チャ

再話／瀬田貞二  
絵／村山知義  
福音館書店 1980年



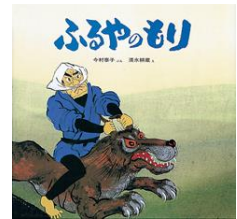
よくばりなネコはオウムの用意したごちそうだけでは不足、オウムを丸飲みしに。さらに次々にいろいろなものを丸飲みしたところ…。

前置きはあっても、丸飲みされるところは、急にやってくるので、あっという間に話にひきこまれていきます。

## 「ふるやのもり」

請求記号：チャ  
季節：梅雨

ぶん／今村泰子  
え／清水耕蔵  
ほるぷ出版 1985年



とても貧乏な家に馬どろぼうと狼が忍び込んでかくれていました。その家のおじいさんが一番こわいものは「ふるやのもり」だと話しているのを聞いたどろぼうと狼は…。

「古屋のもり」という勘違いから発展していく、怖いお話。

## 「とりになったきょうりゅうのはなし」

請求記号：457

さく／大島英太郎  
福音館書店 2010年



翼を持ち、飛ぶことのできる小さな恐竜の子孫だけは生き残り、姿を変えて、今も繁栄を続けていた。恐竜時代と現代が結びつく、壮大なドラマを描く絵本。

絶滅生物や動物の進化を考えさせられるロマンあふれる本。

## 「うまれたよ！オトシブミ」

★

請求記号：486

写真・文／安田守  
岩崎書店 2016年



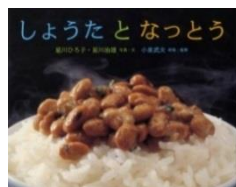
葉っぱをロールキャベツのように巻いて卵を産むオトシブミ。幼虫が葉っぱの巻きものの中で育つ様子を見てみよう。

大きな写真でわかりやすい。遠目のきく大迫力の読み聞かせ生きもの写真絵本シリーズ。

## 「しょうたとなっとう」

請求記号：619

写真・文／星川ひろ子 星川治雄  
原案・監修／小泉武夫  
ポプラ社 2003年



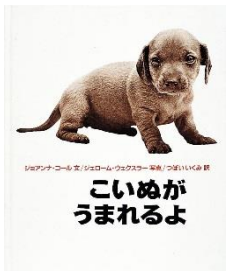
「なっとうはよ、まほうの食べものだかな」納豆嫌いのしょうたが、おじいちゃんとの交流を通して、納豆ができるまでを知る写真絵本。

子どもたちに、いろいろなことを受け継いでいくということは、体験を通じ、時間をかけて物事を手渡していくことなのかもしれません。

## 「こいぬがうまれるよ」

請求記号：ミドリ・645

文／ジョアンナ・コール  
写真／ジェローム・ウェクスラー  
訳／つぼいいくみ  
福音館書店 1982年



生まれたばかりのこいぬを見たことがありますか。目も見えない、耳も聞こえないけれど、おっばいの吸い方をちゃんと知っています。

おかあさん犬の優しさに包まれて、こいぬが大きくなったよ。命の大切さを伝えたい本。

## 「フレデリック」



請求記号：ミドリ

作／レオ・レオニ  
訳／谷川俊太郎  
好学社 1980年



のねずみたちはやがて来る冬のために昼も夜も働き、食料を集め、冬支度を始めます。ところがフレデリックだけは働きません。ほかに集めているものがあると言います。食料は底をつきますが…。

**フレデリックが集めていたものは何だったのか、お話しの世界で一緒に聞いてみてください。**

## 「きょうはなんのひ？」

請求記号：アカ

作／瀬田貞二  
絵／林明子  
福音館書店 1979年



あさ、まみこは「きょうはなんのひ？」とおかあさんにおてがみをわたして学校へ。おてがみは次々とクイズになっていておかあさんは家じゅうをさがしてまわります。

**みんながみんなお互いのことを知っていて、思い合っている、あたたかい家族の物語です。**

## 「すいどう」

請求記号：アカ

さく／百木一郎  
福音館書店 2022年



水道管の修理工事を見た親子が、地面の下にあるパイプを通して、蛇口を開けると流れてくる水の旅を、興味深く追っていきます。

**蛇口を開ければ簡単に手に入る水。長い旅を経て巡ってくることを知り、水を大切に使う気持ちが生まれてくる科学絵本。**

## 「歯いしゃのチュー先生」

請求記号：ミドリ

ぶんとえ／ウィリアム・スタイク  
やく／うつみまお  
評論社 1991年



ネズミのチュー先生は腕ききで有名な歯医者さん。危険な動物の診察はお断りしています。ところがある日、キツネが泣きながら治療を頼みます。

**ネズミの先生と奥さん、そしてキツネのやりとりにドキドキの展開が続きます。**

## 「地球をほる」

請求記号：アカ

作／川端誠  
BL出版 2011年



夏休みの旅行は地面をほってアメリカに行くことにした、つよしとけんた。地球の中心はドロドロしているのでは？そこで中心は避けてほっていくことにしました。

**地球の中心を避けて、地面をほっていくお話しに合わせた絵が愉快的、しかけのような絵本です。**

## 「ほね」

請求記号：491・アカ

さく／堀内誠一  
福音館書店 1982・1991年



人間にはほねがある。他のほとんどの生き物にもほねがある。もしほねがなかったらどうなるのか、ほねのやくめがよくわかる絵本。

**ユーモラスな絵や言葉で長く読み継がれている科学絵本です。**